

小学校 高 学年<5－(8)>

学 年	5年	時 間	理科「天気の変化1、2」(啓林館) 「台風と天気の変化」(東京書籍)	時 期	9月～ 10月	時 数	3(4)時間／全11時間 全3(4)時間
目 標	台風による天気の変化や特徴を知り、台風や洪水、土砂災害等の危険から身を守ることができる。						
資料・準備	新聞記事、学習図鑑、インターネット環境、スライドや写真、専門機関の直接指導を希望する場合は、申し込みや事前打ち合わせを行う。						

使用教科書によって指導計画が異なるが、**3～4時間扱い**で**台風、雲と天気の変化の一部**について以下の通り学習させたい。

<学習の流れ>

- 1 台風による天気の変化と災害、台風の進路について、情報を集めたり話しあったりする。
 - 学習に先立って、家庭学習で、台風、台風の進路、天気予報、天気の変化、台風による被害等について、学習することを告げ、学習の資料になるものを切り抜いたり、写したり、持参するよう指示する。
 - 班で協力して持参したり、時間中に集めたりした資料や写真を見て、話し合い、台風について分かったことや、もっと調べたいこと等をまとめさせる。
 - 実際に台風が近づいているときは、その進路予想をしてみてもよい。

- 2 台風について、班で学習したことをもとに全員で学習する。
 - 台風ってなに? → 台風の特徴 → 台風の一生
 - 実際の台風の様子(鳥取県にも被害)
 - 台風の大きさと強さ
 - 台風の進む方向と風の強さ → 台風による鳥取県への影響
 - 台風による被害(鳥取県の場合、特に名産の梨の落果やビニールハウスの倒壊)と恵み
 - 台風の進路予報(単なる進路予想とのちがいは)
 - 台風が近づいてきたら・・・どうする?
 - 風向風速計、雨量計について(観察と説明)
 - 森林の働きと土砂災害、避難の仕方について(映像や模型実験含む)

- 3 雲と天気について
 - 雲の観察 → 空に浮かぶいろいろな雲の形を十種類に分類して観察(气象台では、毎日観察)
 - 雲の正体は何?
 - 積乱雲について → 洪水害や土砂災害等の災害が発生するかもしれない注意を要する雲
 - 観天望気について (例) 「西の空がきれいな夕焼けなら明日は晴れ」
 「太陽や月がかさをかぶったら雨になる」
 「ツバメが低く飛んだら雨」
 「カエルがさかんに鳴きだしたら雨が近い」
 「夜、遠くの鐘の音や列車の走る音がよく聞こえたら良い天気になる」 等
 - お天気クイズに挑戦してみよう

関連する 教科・領域等	(社会科)「わたしたちの国土」4月～5月 (理科)「流れる水のはたらき」10月 (国語)「森林のおくりもの」11月
協力団体	鳥取地方气象台 鳥取県治山砂防課